

平成15年10月1日発行

近江町議会議員 北村きよたか

連絡先 090-7489-7643

ぶろぐれす通信 No.4

一般質問

天野川改修と安全確保の取組みを問う

問「8月9日、台風10号の増水で、天野川左岸の堤防が箕浦橋付近で崩れた。天野川改修は、過去から県へ要望し続けているはず。現在の県の取り組みについて、本町で把握している状況は如何か。

県は河川整備計画の調査検討に着手

産業土木課長「今後20～30年で実施する河川整備計画策定に向け、県は本年度から調査検討に着手予定。

問「箕浦橋、息長橋の改修に向けた町の行動は如何か。

産業土木課長「町は毎年、県に要望しているし、今後とも望していく。

昨年、町長や関係区長などで県へ陳情された。今年、県の河川徒歩パトロール中に4区長と2議員の連名で直訴された。

町は河川安全確保の提案をしているか？

問「今回の堤防崩壊は、葦の繁茂する中州による水流集中が原因と推測する。町は県に対し、浚渫(しゅんせつ)など安全確保に向けた次善策の提案をしているか。

産業土木課長「河川整備計画策定に向け調査検討の時期

であり、現時点での具体的提言は控えたい。

役場の存在価値は？

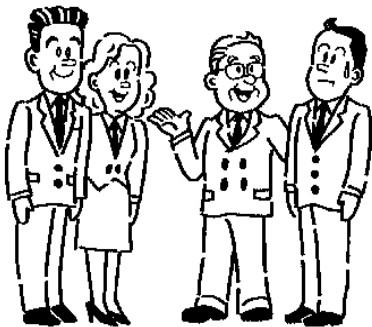
問「県の事業だからとの理由で、主体的行動や提案ができないのでは困る。なぜなら町民の生命や財産にかかわることだからだ。住民の生命や財産が守られなければ、どこに役場の存在価値があるのか。

全職員に問う

これは担当課だけの問題ではない。金が無い、時間が無い、人が足りない。こんなことを言い訳に、町民を忘れた勤務時間を過ごしてはいないだろうか。

一日にして役場の文化は変わらないが、合併は一日にして、職員を新しい環境、文化の中に放り込む。自分たちの存在価値を、今一度、見直すことが必要ではないか。

(北村喜茂隆)



主張

9月10日

総務兼任審査会にて

合併推進室をただす

先の選挙は合併の枠組みをめぐる争いでした。そして、私は、この時をもって枠組み論議の渦中に飛び込みました。

この論争のなか、私は大いに勉強しました。そして自身が納得できる「住民のための枠組み」として、態度を決めたわけです。

国や地方自治体は巨額の負債を抱え、機能不全に陥いる瀬戸際にある。この閉塞感を打ち破る動きのひとつが市町村合併ということ。すでに小手先の改革や節約で乗り切れる状態にない。合併では、なるべく大きな枠組みで体力をつけて生き残るしかない。国が機能不全に陥ろうというのに、北の町を県や国に面倒見させればいなどとの理屈にはならないわけです。良識で判断できるレベルです。

しかし、最初に述べたように、本町では枠組み論議が大きな論争となっていました。なぜなのでしょう。それは、住民への情報公開不足が原因

です。

合併は町政を揺るがす一大事であり、情報公開して町民の良識ある判断に期待すればよかった。説明は何度でもすべきでした。今、振り返ると、当局が「説明する」という住民サービスをどこかに置き忘れたことが、この混乱の原因だったような気がします。

また、合意を形成するという地方行政の基本的な手法というか、テクニックがこれっぽっちも見えませぬ。

本町では7月24日の第141回臨時会において湖北地域合併協議会設置議案を可決しました。そして、湖北地域合併協議会は8月6日に設立、合併実現に向け具体的な協議が始まりました。

今まさに町民の関心事は合併であります。合併協議会での審議項目やスケジュール、また、建設計画に反映すべき住民の意見を聞くなど、これからますます、住民とのコミュニケーションを密にする必要があります。

私は議員になって以来、一貫して住民への説明を求めてきました。先の臨時会でも

(次ページ2段目へつづく)

近江町議会
第162 回定例会

去る9月9日第162回定例会が招集され、22日まで14日間の会期で開催されました。

上程された議案は、平成14年度各会計の決算5件、平成15年度各会計の補正予算5件、条例の一部改正1件、契約の締結3件で、委員審査を経て最終本会議で可決しました。請願は4件のうち1件を採択しました。また、人事案件3件についても選任同意しました。さらに、意見書2件を最終本会議で上程、全員一致で可決しました。



議員討論が繰り行なわれていた様子

(前ページから)
住民への説明を求めました。町長の答弁は「合併協議会の情報を周知するとともに、今後住民の皆さんとの対話を進め、意見を聞きながら合併を進めて行きたい。」とのことでした。

当局は、この説明会を、どのように実施しようとしているかを明らかにすべきです。

9月2日の街かど広報委員会で、町報おつみ8月号、9月号の内容を確認していましたが、複数の委員さんから、「私たちは、合併に興味があるんだ。」8月号、9月号の記事はあるが、説明不足で良く分からない。との声がありました。当局は、今まさに説明会の好機ととらえていたいただきたい。

また、合併後をにらんだ意見をお持ちの方もおられる。

当局は、町民の意見や提案に耳を傾けるべきです。

説明会をはじめから町長が出て行けば混迷する。職員が淡々と説明できるような資料を用意して進めていただきたい。その場で返答できない質問は、持ち帰り、当局内で意思統一の後、回答するようにはしてほしい。

町長は自ら出て行きたいでしょうが、自分が出るタイプ

ミングを良くはかっていたいただきたい。

総務課をたただす

情報セキュリティ

ポリシー

8月25日住基ネットが本格稼働しました。電子政府・電子自治体に不可欠なサービスであり、今後のシステム拡充に大いに期待しています。

この、本格稼働は各市町村の住民基本台帳がネットワークで接続されたという意味です。セキユリティ面での不安は必ず解消しておかなければなりません。現在、運用上の問題は無いものの、本町は、ただちに情報セキュリティポリシーを確立しなければなりません。

注) 情報セキュリティポリシーとは「情報資産」を守るべく施す対策や規約をまとめたものをいいます。

バランスシート

行政コスト計算書

社会情勢の変化、厳しい財政状況などから「収入、支出」の情報に加え、「資産、負債、資本」等のストック情報を把握するために企業会計の手法を導入する自治体が増え始めています。

バランスシート、損益計算

書等から、コストの発生原因ごとに、業務費用および機会費用に区分して表示するのが行政コスト計算書です。

これは、自治体のコスト意識やマネジメントの欠如に対する評価制度などに活用できると言われています。

滋賀県の市町村50団体のうち、平成13年度版として、バランスシートは16団体、行政コスト計算書は6団体で作成済みと報告されています。

本町でも試行していますから、早期に公開すべきです。

注) バランスシートは貸借対照表ともいいます。調達した資金を借金と自己資金に分けて右側に記載、その資金がどのように資産として運用されているかを左側に記載します。

近江町防災計画書

9月1日は防災の日でした。また、8月9日には天野川左岸が崩壊しました。町の防災体制は「近江町防災計画書」にまとめてありますが、5年前に改訂されたままです。いざというときに役に立たなければ困りますので、早急に改訂すべきです。

また、各大字の地域防災計画とのリンクも必要です。

(北村豊代隆)



歩道橋設置が必要な天野川橋

請願の紹介

大字飯区長はじめ6区長から提出された「大字飯地先の天野川橋に歩道橋設置を求める請願書」の紹介を、本会議初日に行いました。その後、産業環境常任委員会に付託、最終日に全員一致で採択されました。さらに意見書は天野川橋のほか箕浦橋にも歩道橋を設置する内容で可決、議長名で関係先に送られます。また、この請願の取り扱いをきっかけに、議会では天野川や周辺道路の整備について関心が高まりました。

(北村豊代隆)